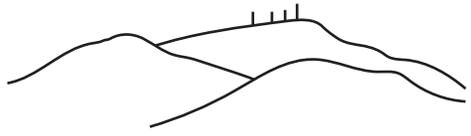
Devotion Guide/ユースマナ

Youth Manna

2019/9/2 - 9/8



マルコ 1:35
　さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2019/9/2(月)

II サムエル 21 章

　三年間続いて飢饉が起こり、ダビデは神様に祈りました。神様がダビデに語ったのは、サウルとその一族にギブオン人を殺戮した血の責任があるということでした。それを受けてダビデとギブオン人たちは話し合い、サウルの息子７人が殺されました。そしてその後、放って置かれていたサウルとヨナタンの骨も先祖の墓にきちんと葬られました。
　主が語られたことに対して、ダビデやギブオン人がした応答をどう考えれば良いかは難しいね。だけど彼らは過去の罪に真剣に向き合いました。そして神様もこの国の祈りに心を動かされたのです。
　放っておいて、見ないようにしていることはないかな？例え気持ちが進まなくても、真剣に向き合い、神様に祈ろう！そして必要であれば行動を起こそう！

2019/9/3(火)

II サムエル 22:1-25

　この箇所でダビデは、主こそ真の助けであると宣言している。ダビデの敵とは何だったのだろうか。1 節に「特にサウルの手から」とあるが、サウルを殺す機会を得ながらそれをしなかったことを考えると、真の敵はサウルではないようです。ダビデは敵の脅威を、死の波、滅びの激流、よみの綱、死の罠と表現し、主を呼び求めるとそこから救い出してくださったと告白しています。
　主の目に義を保ち、主の道を守ったダビデを、主は喜ばれました。ダビデの真の敵は、ダビデを主の道から外れさせ、主とダビデの関係を壊すものでした。
　私と主との関係を壊す、私の敵は何だろうか。あなたはどんな敵の誘惑と戦っていますか？すべての敵から救い出してくださる神様に助けを求めて祈ろう！

2019/9/4(水)

II サムエル 22:26-51

　ダビデは、主をともしびと告白し、主が行く道を全きものとされるお方であると信頼し、生涯を歩みました。彼は、主によって戦いにも徹底的な勝利を得て、力の限り主をほめたたえました。そのようなダビデが国々のかしらとなることによって、国々も主をほめたたえました。ダビデは、ダビデと彼の子孫にとこしえに恵みを施すという神様の約束をともしびに歩み、そのともしびは消えずに主イエス様へと灯り続きました。
　祈ろう！今日、主が私を仕わされる場所で、主を信頼し歩むことができますように。イエス様が私を用いてください。

2019/9/5(木)

II サムエル 23:1-19

　今日の箇所はダビデ王の最後の言葉です。ダビデが生涯を通して悟ったこと、そして神様がダビデを通して語られたことでもあるよ！ダビデは①義をもって治める②神を恐れて治める。この２つを挙げました。イエス様以上に、このように治めることの出来る方はいません。
　今の社会では、世界の自由化の流れの中で、多くの人々が自由をはきちがえてしまっています。そしてあまりに自由なため、逆に何をして良いのかわからなくなったり、基準を失ってしまったり、混乱したりしているね。
　天の御国とは、イエス様が治めておられるところです。あなたの心はイエス様によって治められているでしょうか？イエス様がすべてを治めてくださることを求めて、御国が来ますようにと祈ろう！

2019/9/6(金)

II サムエル 23:20-39

　この箇所には、武勲を上げたダビデの勇士たちの名前が記されています。彼ら自身やその家族にとっても、とても栄誉なことだったことでしょう。イエス様の時代、弟子たちがイエス様の御名によって悪霊を服従させ勝利を体験して戻った時、イエス様は「あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい」と言われました (ルカ 10:17-20)。
　自分の名前が天に書き記されていることを喜ぼう！神様はあなたを誇りに思い、名前を書き記すほどに喜ばれています。私たちがイエス様のためにするどんな小さなことでも、神様はワクワクして見てくれているよ！神様に心を向けて、勇敢に御心を行おう！

2019/9/7(土)

II サムエル 24 章

　第２サムエル記も終わり…みんなはどんなことが心に残っているかな？ダビデは最後の最後でも人口を数えるっていう罪を犯してしまったね。人の数がどのくらいいるのかで、神様以外のものに頼り、自分の栄光をもとめてしまったんだ。
　それでもダビデは自分の間違いにきづいて、神様に祈り悔い改めることができた。神様は私たちを罪に導くことはしないけれど、私たちが罪を犯してしまったとしても、そのすべてを神様ご自身のご計画のために用いることができる方なんだ。
　だから自分の罪に気付かされた時、素直に神様の前に出て悔い改め、神様の愛に立ち返ろう！今日その一歩を踏み出そう！

2019/9/8(日)

テトス 1 章

　テトスへの手紙では「健全な教え」によって歩むこと、「良いわざ」に励むことが強調されています。それは、人々の信仰が守られ、成長するためにパウロがみことばから語ったことでした。
　健全な教えに立つということは、正しくみことばを知るだけでなく、そのみことばに従って生きるということです。

　私たちの毎日の歩みは、みことばを一番に、従い続けるものになっているでしょうか。私のみことばに対する姿勢はどうか、神様の前に静まって思い巡らそう。